



平成26年度定時総会開催

ごあいさつ

理事長 丹下 正彦



(元警察庁情報通信局長)

平成26年度定時総会が5月26日開催され、全ての議案に対し会員皆様のご同意を得られ無事終えることができ御礼申し上げます。この協会も発足以来5年目を迎えて、5月末現在200社、3個人の方々に会員になっていただいております。協会の発足以来皆様のご支援、ご協力のおかげで順調に業務を推進してまいりました。

今年度から定款で規定する重要事業である「交通信号工事士技能検定」が会員以外の方にも受験していただけるようになりました。また、技能検定の受験参考書として、試験内容を網羅した「交通信号工事施工ハンドブック」の頒布も開始いたしました。また、広報活動の一環として、当協会のホームページに交通信号工事士専用の掲示板を新設いたしますのでご利用ください。今後はこれらの事業を着実に推進し発展させるとともに、これらの事業の意義や社会性を広く世間に浸透させるとともに、全国の警察に採用していただくための努力が必要と考えています。それに加え、平成24年3月に三重県警察本部と締結した防災協定を具現化する施策として、昨年度試験開催した信号工事の競技会「交通信号甲子園」を全国からの防災支援を前提とした内容で実施いたしました。また、総合的な技術力向上、新技術の取得を目的とした関東版の信号工事競技会も開催いたしました。これらは適切な工事施工を行うための実践的な内容で競技するものであり、優秀な工事技術者の確保と育成に必須な方策であります。

会員の皆様方におかれましては、このような協会活動にご理解を賜り、積極的にかかわっていただけますようお願い申し上げます。

平成26年度定時総会の開催

平成26年度定時総会の開催

平成26年5月26日(月)東京都台東区 株式会社オーラムにおいて、平成26年度定時総会と懇親会が開催されました。総会に先立ち、「交通信号工事施工ハンドブック」編纂に多大の功績のあった、横井昭氏及び島田良一氏に感謝状が贈呈されました。また、元公正取引委員会に勤務されていた池森治男氏の講演が開催され、会員等50名以上の協会員が受講されました。

定時総会は、丹下正彦理事長の挨拶の後、平成25年度事業報告、収支決算報告及び監査報告が承認されました。

最後に平成26年度事業計画及び収支予算について事務局から報告があり、無事定時総会が終了しました。

定時総会終了後、多数の会員の方々と講演の講師を交えて懇親会が開催されました。

定時総会で配布された資料は、ホームページの「会員専用ページ」でご覧いただけます。

理事長挨拶要旨

協会は発足して5年目になり、最後の重点目標である施工ハンドブックの編纂が無事終了しました。このハンドブックで受験勉強していただくことにより、信号工事士の認定試験が会員以外の方にも受験していただくことができるようになりました。全国で多くの会員が協会に参入いただき、そして多くの信号工事士が誕生すれば、この協会の存在意義はより高まり、社会的に有用性が認められてくると思います。

コンプライアンスについては、業界の健全な業務執行や、協会の健全な運営に絶対に必要不可欠な重要事項ですので、引き続き法令順守に十分配慮いただきますようお願い申し上げます。

今年度は、会員の皆様方に真に役立つ施策に取り組んでゆかねばならない正念場になると思います。本日の報告事項内に本年度の業務計画を記述してありますので、この効果的な実施に向けてご理解とご支援を賜りたい旨の挨拶がありました。



感謝状の贈呈



総会状況



懇親会風景

定時総会に先立ち池森治男客員研究員の講演が開催され、貴重なお話をお伺いしました。参加者の多くから大変参考になったと感謝されましたので、講習会の概要を掲載いたします。

池森氏は、昭和44年中央大学法学科を卒業され、公正取引委員会事務局に入局されました。平成17年北海道事務所長を最後に辞職され、平成25年11月から公益財団法人公正取引協会客員研究員としてご活躍され現在に至っています。

講演の表題は「入札談合と独占禁止法」

公正取引委員会は、独占禁止法を運用するために設置されており、他の省庁と異なり、合議制の独立行政委員会です。委員会は、委員長と4名の委員で構成されており、任期は5年、その意に反して罷免されることはありません。

独占禁止法は、企業活動の基本的なルールを定めた法律であり、会社の規模や業種のいかんを問わず、事業活動を行うすべてのものに適用されるので、企業及びその従業員にとつては極めて関係の深い法律である。

独占禁止法で違法とされている「独占禁止法の3本柱」は、①私的独占、②不当な取引制限の禁止、③不公正な取引方法の禁止である。

「公共入札における独占禁止法の適用」 入札談合は、不当な取引制限に該当する行為で最も悪質な行為である。

「公共入札ガイドライン」 違反を未然に防止することが行政効率の上からも、また企業の法令遵守にとっても重要であることから公共入札ガイドラインを公表しています。

「入札談合等関与行為防止法」 公共入札における談合に国または地方公共団体の職員が関与するいわゆる官製談合を防止するための法律で、これに違反すると刑事罰のほかに懲戒処分が行われます。

独占禁止法に違反すると「排除措置命令」と「課徴金納付命令」が企業に、人には「刑事罰」が課されます。また、その他として「損害賠償」、「株主代表訴訟」、「指名停止処分」が課されます。



講演会風景

25年度事業報告

【事業の概要】

- 交通信号施設工事技術の総合的研究
交通信号工事施工技術を網羅した「交通信号工事施工ハンドブック」を作成、配布しました。
 - 交通信号施設工事に関する技術・技能研修実施結果
5～6月に全国4か所で技術・技能講習会を開催171名が受講した。なお、交通信号工事士資格保有者の更新講習でもあり、この講習を受講すれば資格有効期限が5年間延長されます。
 - 交通信号施設工事に関する技能検定事業
交通信号施設工事に従事する人材の育成と専門能力の向上を目的に創設された資格検定制度、平成25年度末に1662名の資格保有者が誕生しています。
 - その他の活動
 - 交通信号甲子園の開催
 - 情報発信の取組
 - 会員拡大に向けた取り組み
 - 協会の意義・役割についての理解向上を図る取組
 - ロゴマークの作成
 - 交通信号工事士技能検定の周知
 - 事務所移転
- ☆ 昨年度は事務所移転、ハンドブックの作成等予想外の経費が必要となり、赤字決算となった。

【平成25年度収支決算】 単位：円

(収入)	
1 入会金	860,000
2 年会費	9,574,000
3 事業収入	2,491,980
4 分担金収入	450,000
5 雑収入	23,904
収入合計	13,399,884
(支出)	
1 事業費	8,461,030
2 管理費	8,418,234
支出合計	16,879,264
当期収支差額	△3,479,380
前期繰越収支差額	16,056,335
次期繰越収支差額	12,576,955

【事業実施方針】

交通信号工事技術の向上重点施策としての交通信号工事士の技能検定、技術講習会、信号工事施工ハンドブックの編纂そして頒布を昨年度に引き続き継続してまいります。また、都道府県警察との防災協定の締結、交通信号甲子園の全国開催への促進を実施します。

業界の健全化対策としては、十分な成果が得られなかったことから、協会の発足時である原点に戻り、会員が真に期待する施策を実行し、目に見える成果を挙げるよう一層の努力をします。

【各事業の実施事項】

- 調査研究・普及事業
 - 技術史料の編纂
 - 工事技術の標準化
 - 交通信号工事施工ハンドブックの普及
- 技術・技能研修事業(本年度実施済み)

交通信号工事技術講習会を5月下旬に全国5か所で定期講習、会員一般講習を開催。講習内容は、交通信号制御機の構成と機能性能、交通信号機の基礎知識、安全管理。
- 交通信号工事士技能検定事業

会員限定で実施してきた検定試験を本年度から広く一般に門戸を開放し、資格保有者の増強を図ります。

試験日は平成26年8月3日、全国11か所で実施します。
- 協会の目的達成に必要な事業
 - 「災害時における交通安全施設の復旧に関する協定」に基づく対応
 - 会員の維持・拡大

広報活動(全信工ニュースの発行、ホームページの更新、技能検定関係リーフレット等の作成配布、一般社団法人交通工学研究会への加入)
 - 「信号工事甲子園」の開催

前年度に引き続き三重県での開催を防災版に変更し、関東版として今年度第1回を開催。
 - 喫緊の課題の解決

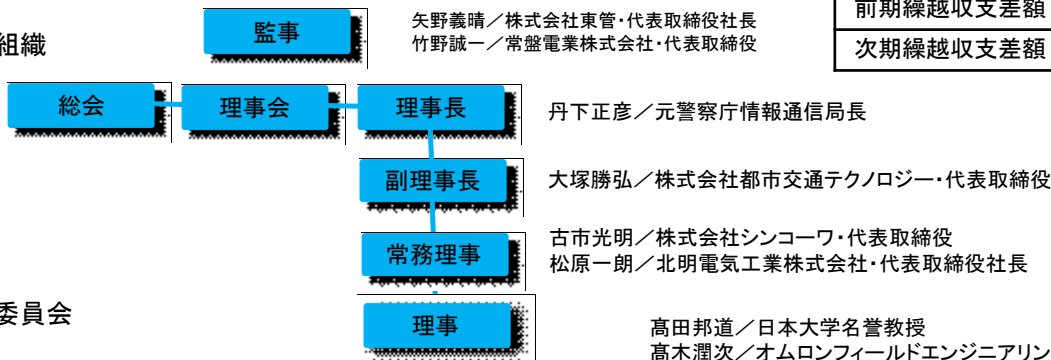
仕様、標準化、調達等の課題や問題点を検討整理して、その改善方を行政関係者に働きかけ、改善を図ります。

【平成26年度収支予算】 単位:円

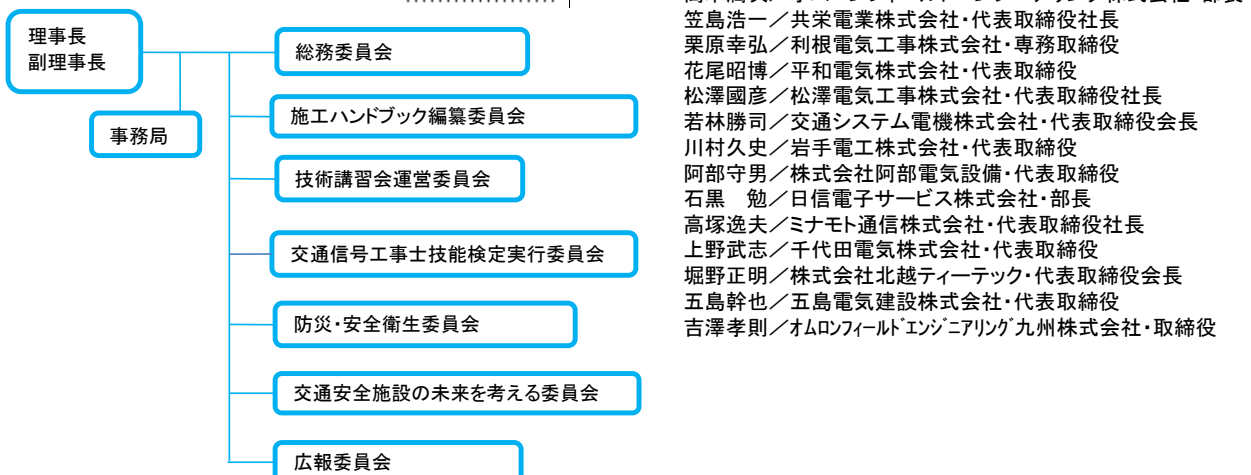
(収入)	
1 入会金	1,800,000
2 年会費	10,380,000
3 事業収入	4,195,200
4 分担金収入	500,000
5 雑収入	10,000
収入合計	16,885,200
(支出)	
1 事業費	7,611,826
2 管理費	7,868,100
支出合計	15,479,926
事業活動収支差額	1,405,279
予備費	1,000,000
当期収支差額	405,274
前期繰越収支差額	12,576,955
次期繰越収支差額	12,982,229

【協会の構成】

①組織



②委員会



交通信号甲子園(関東版)

平成26年5月28日、埼玉県児玉郡にある株式会社カンドー埼玉工場内において、「交通信号工事甲子園(関東版)」が開催されました。

交通信号工事甲子園の目的は、交通信号技術の向上及び継承と災害時における復旧の遅れの原因の一つである工事仕様の違いの克服です。

関東版では、交通信号工事施工ハンドブックに準じ、信号柱(ベース式)の建込、信号ケーブルの配線及び結線、車両用・歩行者用灯器の取付及び結線、そして点灯確認までの工事内容で技術を競いました。

竹重防災・安全衛生委員長の開会の挨拶及び競技開始の合図により競技が開始されました。競技は、帯同の車両、工具を使用することにより、各社の特色が生かされ、参加業者や来賓の方々も熱心に見学されていました。

当日は暑い日に関わらず、スタッフを含め135名が参加し、一人の事故や怪我もなく、無事終了しました。受賞チームは右のとおりです。

優勝	株式会社阿部電気設備(茨城県)
準優勝	千代田電気株式会社(神奈川県)
第3位	有限会社荒井電気工業(東京都)
アイデア賞	春日電設株式会社(東京都)
迅速性部門賞	利根電気工事株式会社(群馬県)
正確性部門賞	株式会社内外(山梨県)
安全性部門賞	株式会社アイテック(埼玉県)
特別賞	有限会社北栄電気商会(北海道)



開会式風景



競技風景

交通信号甲子園(防災版)

平成26年6月2日、三重県菰野町(株)シンコーワ敷地内において「交通信号甲子園」が開催されました。昨年は試験実施であったのですが、平成23年度に三重県警察本部と締結した「災害協定」に基づく訓練を重点に置くこととしたため、防災版として新たに開催することとなりました。参加企業は、全国8社選抜により競いました。

来賓には、三重県警察本部交通部交通規制課長他多数参列されました。

丹下理事長の開会挨拶に始まり、常盤電業(株)手塚寿一選手による選手宣誓、そして竹重防災・安全衛生委員長の競技開始の合図により競技が開始されました。

競技は柱上間のケーブル架設工事及び結線、歩行者用灯器の設置工事及び結線、そして取り付けた部材の撤去工事を1時間以内で行い、安全性、確実性、迅速性そして今年度から追加した班長の指揮能力について採点し、順位を競いました。

優勝は、大阪府から出場の洸陽電気工事(株)。内容が班長の指示が的確であったためでした。なお、その他の受賞チームは下記のとおりです。

優勝	洸陽電気工事株式会社(大阪府)
準優勝	株式会社光洋(千葉県)
第3位	五島電気建設株式会社(京都府)
迅速性部門賞	有限会社アサヒ電設(三重県)
正確性部門賞	常盤電業株式会社(東京都)
安全性部門賞	株式会社コアテクノ(大阪府)
特別賞	株式会社愛岐通信(岐阜県)
特別賞	大岳電気工業株式会社(愛知県)
班長賞	洸陽電気工事株式会社 楠本昌三



開会式風景



表彰式



競技風景

お問合せ先

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号
 一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
 TEL: 03-6659-3586 FAX: 03-3846-5582
 URL: <http://www.zenshinko.jp> E-mail: info@zenshinko.jp